

株主の皆様へ

第 **126** 期  
**中間報告書**

2024年4月1日から2024年9月30日まで

**世界をなめらかにする仕事。**

機械のあらゆる回転部位をなめらかにするベアリング技術。  
より精密なベアリング技術があれば、軸はよりなめらかに回転し、  
エネルギーロスは限りなく少なくなります。  
つまりベアリングは、省エネルギーのための技術です。  
ベアリングで磨いてきたその技術は、  
これからの電気自動車やロボット、自然エネルギー社会までも、  
なめらかに変えていきます。

**NTN 株式会社**

証券コード 6472



**株主の皆様へ**

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、  
厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の第126期中間報告書をお届け  
いたします。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜り  
ますようよろしくお願い申し上げます。

取締役 代表執行役 執行役社長  
CEO (最高経営責任者)

鷓飼 英一

# 事業の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)における世界経済は、一部の地域で足踏みがみられたものの、持ち直しが継続しました。日本経済については、個人消費で足踏みが残るものの、設備投資、雇用情勢は持ち直しまは改善の動きがみられ、景気は緩やかに回復しました。海外においては、米国経済は、物価上昇率の下げ止まりに伴う影響が懸念されますが、景気は拡大しました。中国経済は、政策効果により、供給の増加がみられた一方、景気は足踏み状態となり、アジアのその他新興国経済は緩やかに回復しました。欧州経済は一部に景気の足踏みがみられたものの、持ち直しの動きがみられました。

かかる状況下、当中間連結会計期間の売上高は413,947百万円(前年同期比1.0%増)となりました。損益につきましては、営業利益は規模減の影響などはありましたが、売価転嫁や比例費の削減などにより、9,949百万円(前年同期比47.1%増)となりました。経常利益は、為替差損計上の影響などにより3,483百万円(前年同期比28.7%減)、親会社株主に帰属する中間純損失は、税効果の影響などにより2,125百万円(前年同期は4,124百万円の親会社株主に帰属する中間純利益)となりました。



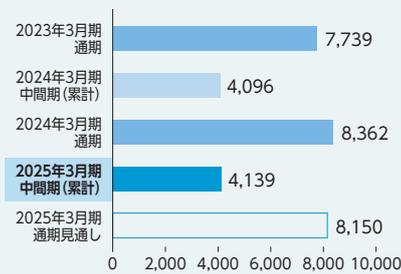
当社グループは、本年4月から開始した新中期経営計画「DRIVE NTN100」Finalで掲げた「事業構造の変革(Transformation)の加速」の継続とNTN再生の完了を目指し、生産再編を中心とする事業構造改革の実行と、「SQCCD」\*の強化を通じた「稼ぐ力」の向上に注力してまいります。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

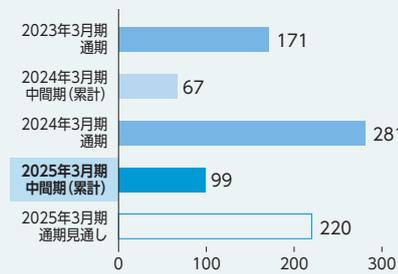
\*SQCCD: Safety(安全) Quality(品質) Compliance(法令遵守) Cost & Cash(コスト・キャッシュ) Delivery & Development(納期・開発)

## 連結財務ハイライト

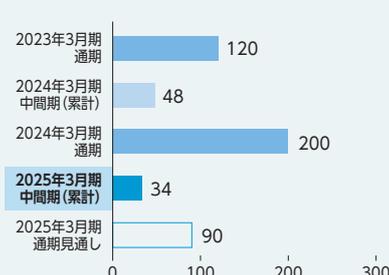
売上高(億円)



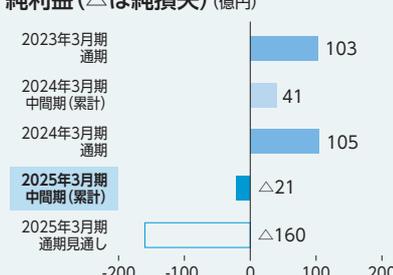
営業利益(億円)



経常利益(億円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益(△は純損失)(億円)



### 当期の配当について

当期の中間配当金につきましては、業績、配当性向、経営環境等を勘案しました結果、1株につき5.50円とさせていただきます。

配当金の推移(円)



### 決算説明会について

2024年11月6日に開催した2025年3月期第2四半期(中間期)決算説明会の内容の動画をご覧いただけます。



# セグメント別の概況

## 日本

2025年3月期  
中間期(累計) 売上高  
**1,758** 億円

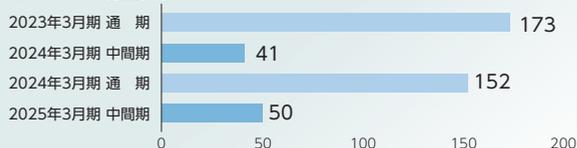
販売につきましては、軸受他事業においては、補修市場向けで減少し、OEM市場向けでも産業機械向けおよび自動車向けともに減少しました。CVJアックスル事業においては、OEM市場向けでは自動車向けで客先需要の回復などにより増加しました。

全体としては、売上高は175,814百万円(前年同期比2.4%減)となりました。セグメント損益は規模減の影響などはありませんでしたが、売価転嫁や為替の影響などがあり、5,047百万円のセグメント利益(前年同期比20.7%増)となりました。

売上高推移 (単位: 億円)



セグメント利益推移 (単位: 億円)



## 欧州

2025年3月期  
中間期(累計) 売上高  
**949** 億円

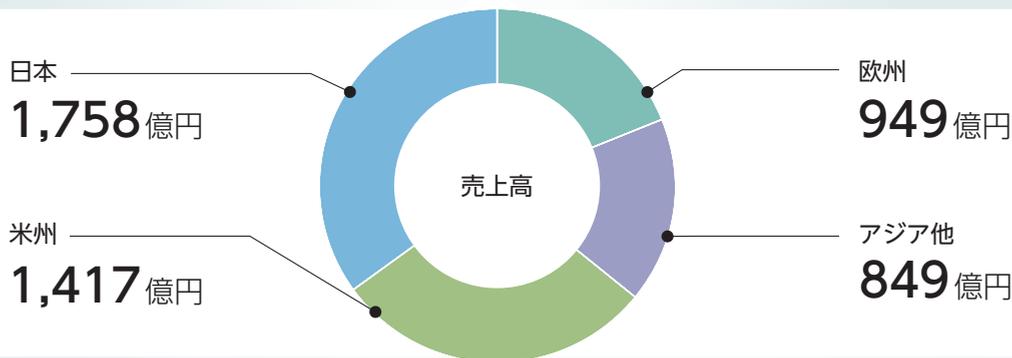
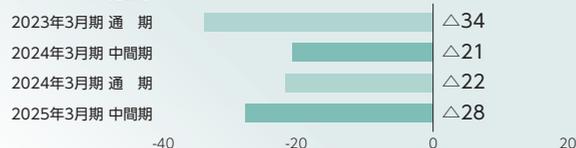
販売につきましては、軸受他事業においては、補修市場向けで減少し、OEM市場向けでも産業機械向けおよび自動車向けともに減少しました。CVJアックスル事業においては、自動車の補修市場向けおよびOEM市場向けで客先需要の回復などにより増加しました。

全体としては、為替の影響もあり売上高は94,988百万円(前年同期比2.5%増)となりました。セグメント損益は売価転嫁や比例費の削減などはありませんでしたが、固定費の増加や販売規模減の影響などがあり、2,865百万円のセグメント損失(前年同期は2,146百万円のセグメント損失)となりました。

売上高推移 (単位: 億円)



セグメント利益推移 (単位: 億円)



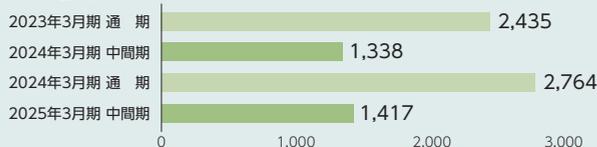
## 米州

2025年3月期  
中間期(累計) 売上高  
**1,417** 億円

販売につきましては、軸受他事業においては、補修市場向けでは減少し、OEM市場向けでは産業機械向けで増加し、自動車向けで減少しました。CVJアックスル事業においては、自動車の補修市場向けおよびOEM市場向けともに客先需要の低減などにより減少しました。

全体としては、為替の影響もあり売上高141,760百万円(前年同期比5.9%増)となりました。セグメント損益は売価転嫁や比例費の削減などはありませんでしたが、977百万円のセグメント損失(前年同期は2,381百万円のセグメント損失)となりました。

売上高推移 (単位: 億円)



セグメント利益推移 (単位: 億円)



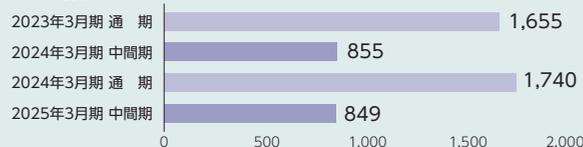
## アジア他

2025年3月期  
中間期(累計) 売上高  
**849** 億円

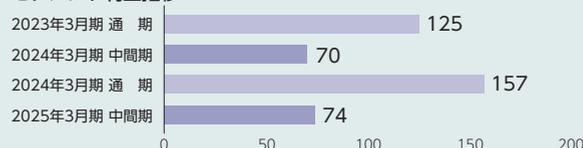
販売につきましては、軸受他事業においては、補修市場向けで減少し、OEM市場向けでも産業機械向けおよび自動車向けともに減少しました。CVJアックスル事業においては、自動車の補修市場向けおよびOEM市場向けともに客先需要の低減などにより減少しました。

全体としては、売上高は84,911百万円(前年同期比0.7%減)となりました。セグメント損益は比例費の削減などにより、7,435百万円のセグメント利益(前年同期比5.6%増)となりました。

売上高推移 (単位: 億円)



セグメント利益推移 (単位: 億円)



\* 上記のセグメント情報には、セグメント間の取引が含まれております。

# 事業形態別の概況

## 軸受他事業

2025年3月期  
中間期(累計)

売上高 **1,681** 億円

客先需要の低減などにより売上高は168,136百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

営業損益は売価転嫁や配賦方法の見直しによる共通費の減少などはありませんでしたが、規模減の影響などにより6,638百万円の営業利益(前年同期比7.5%減)となりました。

### 主な商品・サービス

#### 建設機械向け



資源採掘や土木建設で活躍

#### 航空・宇宙向け



世界のジェットエンジンに採用

#### リモート技術支援サービス



#### 自動車向け



EV・HEV向け高速、耐電食軸受

#### NTN ポータブル異常検知装置



## CVJアックスル事業

2025年3月期  
中間期(累計)

売上高 **2,458** 億円

客先需要の低減などはありませんでしたが、為替の影響もあり売上高は245,810百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

営業損益は規模減の影響や配賦方法の見直しによる共通費の増加などはありませんでしたが、売価転嫁や比例費の削減などにより3,311百万円の営業利益(前年同期は409百万円の営業損失)となりました。

### 主な商品・サービス

#### ドライブシャフト

エンジンやモーターの駆動力をタイヤに伝える商品。



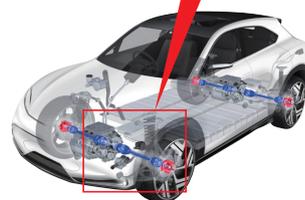
世界最高水準の伝達効率  
高効率固定式等速ジョイント「CFJ」

#### ハブベアリング

タイヤを円滑に回転させ、車重を支えるベアリング。



回転フリクションを64%低減  
「低フリクションハブベアリングV」



## NTNレポート2024(2023年度)

事業概要、中期経営計画における戦略、地域別動向や担当役員メッセージなど各事業に関する詳細な情報は「NTNレポート2024」に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



NTNレポート

<https://www.ntn.co.jp/japan/investors/annual.html>



### NTNレポート2024

ビジネスモデルの強化

軸受他 CVJ  
アックスル

- ・事業概要…………… P.31 / P.35
- ・主な商品・サービス…………… P.31 / P.35
- ・中期経営計画の戦略…………… P.32 / P.36
- ・地域別動向…………… P.32 / P.36
- ・事業担当役員メッセージ…………… P.33 / P.37
- ・Special Feature…………… P.39

# 災害時にも活躍する 「自然エネルギー商品」 特設サイトをぜひご覧ください

NTNでは、「なめらかな社会」の実現に向けて、太陽光や風力などの自然エネルギーを活用した環境貢献商品を開発しており、ウェブサイトでも特設サイトを設けてご紹介しています。

豪雨や台風、地震などの自然災害が多発する近年、重要性がますます高まっている事前の災害対策という社会課題に対するソリューションとして、生活維持に不可欠な電源を必要な場所に供給し、非常時の安全、安心の確保に貢献する商品である、移動型独立電源「N<sup>3</sup> エヌキューブ」と定置型独立電源「NTNグリーンパワーステーション」をラインアップしています。

特設サイトでは、これらの商品の詳細や活用事例に加えて、NTNが自然エネルギー商品を通じて貢献したいことやその必要性など、自然エネルギー商品に関するNTNの取組みを総合的にご紹介しています。



「自然エネルギー商品特設サイト」

<https://n3.ntn.co.jp/>



## 自然エネルギー商品ラインアップ

高い機動性で  
必要な場所にトラック等で迅速に展開

### 1 移動型独立電源 「N<sup>3</sup> エヌキューブ」

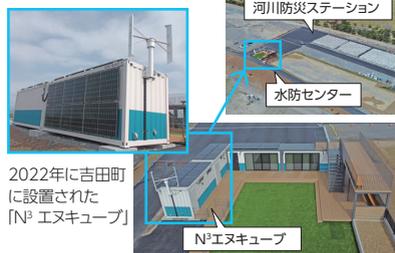
Pick Up 活用事例

防災拠点の独立電源として採用  
— 静岡県吉田町 —



駿河湾に面する吉田町では津波避難タワーや防潮堤、河川防災ステーションを整備しており、その一角には、災害時の水防/救護活動の拠点および災害支援物資の備蓄・保管を目的とした水防センターが建てられています。

本施設のエアコンや照明などの稼働に必要な電力の供給に「N<sup>3</sup> エヌキューブ」が採用されており、停電発生時は「N<sup>3</sup> エヌキューブ」を切り離してトラックで停電地域に運搬し、非常用電源として活用することも可能です。



いざという時に頼れる発電所

### 2 「NTNグリーン パワーステーション」



活用事例(一例)

駐車場を避難場所とした際の非常用電源ステーションとして導入

## Topic

### 開発者の思いと挑戦のストーリー

「N<sup>3</sup> エヌキューブ」開発を牽引した技術者が、その開発の経緯や過程、将来展望について、自らの体験や思いを交えてご紹介しています。



NTNの独創的な商品・サービスについて、  
様々な開発ストーリーを掲載しています。

未来を切り開くTHE CHALLENGE

[https://www.ntn.co.jp/japan/the\\_challenge/](https://www.ntn.co.jp/japan/the_challenge/)



## ウェブサイトのご案内

様々なコンテンツを公開しています

当社のウェブサイトでは、財務・非財務の情報開示に加え、当社グループを分かりやすく紹介したコンテンツや、最新の取組み等を随時公開しています。

[ウェブサイトトップページ](https://www.ntn.co.jp/)  
<https://www.ntn.co.jp/>



## NTNニュース配信登録のご案内

配信登録いただきますと、ニュースリリースなど、当社の情報を電子メールでお届けします。ご登録はこちらをご参照ください。

<https://www.ntn.co.jp/japan/newsmail.html>

※本配信サービスは、三菱UFJ信託銀行(株)証券代行部が運営しています。



# 会社情報 (2024年9月30日現在)

## 当社の概要

社名 NTN株式会社  
商標 **NTN**  
創業 1918年3月  
設立 1934年3月  
資本金 543億円  
従業員 5,664名(連結:22,512名)  
事業内容 軸受、ドライブシャフト、  
精密機器商品等の製造及び販売

## 取締役

取締役 鶴飼 英一  
取締役 宮澤 秀彰  
取締役 山本 正明  
取締役 木下 俊平  
取締役 江上 正樹  
取締役 尾迫 功

社外取締役 川上 良  
社外取締役 西村 知典  
社外取締役 小松 百合弥  
社外取締役 村越 晃  
社外取締役 木谷 泰夫  
社外取締役 塔下 辰彦

## 執行役

代表執行役 執行役社長 鶴飼 英一\*  
代表執行役 執行役 宮澤 秀彰\*  
執行役 市川 博幸  
執行役 皆見 章行  
執行役 川端 恭弘  
執行役 木下 俊平\*  
執行役 孝橋 宏二  
執行役 楯岡 生也  
執行役 谷尾 雅之  
執行役 中野 賀泰  
執行役 播磨 悦  
執行役 山本 正明\*

\*取締役を兼務する執行役

## 株式情報 (2024年9月30日現在)

### 株主数および株式数

株主数 ..... 84,500名  
発行済株式数 ..... 532,463,527株  
(自己株式851,073株を含む)

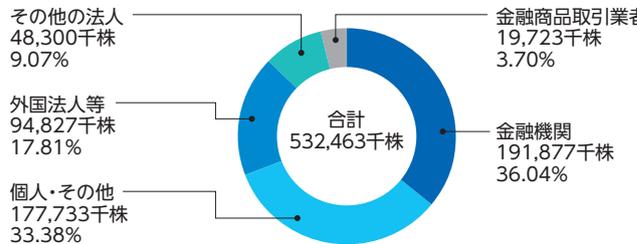
### 大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率* (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	79,592	14.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	26,194	4.92
明治安田生命保険相互会社	21,344	4.01
NTN共栄会	17,462	3.28
NTN従業員持株会	12,933	2.43
株式会社三菱UFJ銀行	11,332	2.13
第一生命保険株式会社	9,328	1.75
日本生命保険相互会社	9,206	1.73
JPモルガン証券株式会社	9,126	1.71
三菱UFJ信託銀行株式会社	7,901	1.48

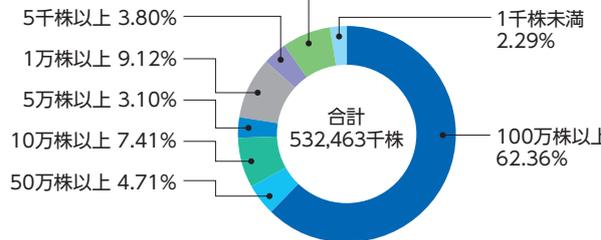
\*持株比率は自己株式数(851,073株)を控除して計算しております。

### 株式分布状況

#### 所有者別



#### 所有株数別



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
定時株主総会 事業年度終了後3か月内  
基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。

剰余金の配当 3月31日  
受領株主確定日  
中間配当 9月30日  
受領株主確定日  
公告方法 電子公告

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載の場合のホームページアドレス  
《<https://www.ntn.co.jp>》

株主名簿管理人 〒100-8212  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話(通話料無料) 0120-094-777

ご注意 1.株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
2.特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。  
3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## NTN株式会社

本社 〒530-0005  
大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館



地球環境に配慮した  
植物油インキを使用  
しています。